

なみかわ ひさみ
並河 寿美

音楽（声楽：ソプラノ）

55 歳（贈呈式 9/24 現在） 神戸市垂水区



業 績

日本を代表するソプラノ歌手の一人であり、とりわけオペラの分野において顕著に活躍している。オペラ de 神戸（神戸文化ホール）では、「蝶々夫人（2016 年）」蝶々夫人、「ラ・ボエーム（2019 年）」ミミ、「椿姫（2022 年）」ヴィオレッタなど大役を務め、オペラの魅力を幅広く市民に伝え、神戸の文化振興に寄与した。その歌声はリリコ・スピントでありながらも、強さの中にドラマを描ける表現力を持つ。交響楽団等のコンサートにおいてソリストとしても活躍。神戸文化ホールだけでなく、兵庫県立芸術文化センター、びわ湖ホール、新国立劇場、堺シティオペラなど各地で精力的に活動が続けている。

2023 年 11 月のイタリア・ボローニャ歌劇場のオペラ「トスカ」日本公演においては、その実力を遺憾なく発揮。当初トスカ役を務める予定であった歌手が体調不良のため、本番当日に急遽代役として出演。限られた稽古時間にもかかわらず、豊かな表現力と情熱をもって主役トスカを見事に歌い演じ切り、卓越した実力と豊富な経験を示した。2018 年より大阪音楽大学特任准教授、2020 年より兵庫県教育委員を務め、後進の育成にも尽力している。

受 賞 歴

兵庫県芸術奨励賞、音楽クリティッククラブ賞（2006 年／平成 18 年）

神戸市文化奨励賞（2012 年／平成 24 年）

神戸キワニス文化賞（2015 年／平成 27 年）

第 73 回文化庁芸術祭賞大賞（2018 年／平成 30 年）

兵庫県文化賞（2019 年／令和元年）

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

公益財団法人東京二期会、兵庫県音楽活動推進会議、神戸音楽家協会、公益社団法人日本演奏連盟、大阪音楽大学 声楽 特任准教授

もりい ていじ
森井 禎紹

写真

84 歳（贈呈式 9/24 現在） 兵庫県三田市



業 績

神戸の写真家・前田章次氏に学び、働きながら数々のコンテストで受賞。49 歳で退社しプロに転向する。アマチュア時代の最後には、当時タブー視されていた演出写真の手法を確立し、アマチュア写真大賞のノミネート賞を受賞。1993 年に「演出写真入門」を出版するとこの手法は全国に広がり、写真界に新たな表現を創出した。ライフワークとして 30 年をかけ全国 1,100 か所を超える祭事を撮影し、これら「祭りシリーズ」を含む 13 冊の写真集を出版。伝統文化の記録・保存においても多大な貢献を果たす。コロナ禍以降は題材を兵庫の絶景に移し、今年中に 200 か所を巡ることを目標に現在も撮影を続ける。また、後進の育成・指導を目的に主宰クラブを神戸市内に設置し、人材育成にも注力している。

精力的な活動は組織運営にも及び、兵庫県写真作家協会最高顧問、全日本写真連盟関西本部兵庫県本部参与など要職を歴任。2016 年には日本最大級の公募展を開く「（一社）二科展写真部」の理事長に創立メンバー以外で初めて就任した。2024 年からは神戸芸術文化会議の副議長を務め、神戸の文化振興を支えている。

受 賞 歴

（一般社団法人）二科会写真部会員努力賞（2012年／平成24年）

兵庫県文化功労賞（2016年／平成28年）

（一般社団法人）二科会写真部功労賞（2018年／平成30年）

兵庫県文化賞（2023年／令和 5 年）

三田市技能金蘭賞（2024 年／令和 6 年）

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

（公益法人）日本写真家協会会員、全日本写真連盟関西本部兵庫県本部参与、兵庫県写真作家協会委員最高顧問、神戸芸術文化会議副議長、（一般社団法人）二科会写真部名誉会員

つつみ ゆうすけ

堤 悠輔

ダンス

44 歳（贈呈式 9/24 現在） 神戸市灘区



業 績

六甲学院出身。5 歳より貞松・浜田バレエ学園でバレエを始め、17 歳で Royal Ballet School of Antwerp (ベルギー) に短期留学。これをきっかけに翌年より同校に 2 年留学。アナトール・カプチンに師事。ケネス・マクミラン、ティエリー・マランダイヌ等の作品にてソロに選抜され踊る。2002 年 INTRODANS (オランダ) と契約。イリ・キリアン、マッツ・エック、ハンス・ヴァン・マーネン、デビッド・パーソンズ、ロバート・バトルの作品等を踊り、20 カ国以上のツアーに参加。2007 年 金森穰率いる Noism (新潟市民芸術文化会館専属舞踊団) と契約。元フォーサイスカンパニー所属、安藤洋子作品に出演。

2008 年 貞松・浜田バレエ団に入団。バレエマスターとして演出に携わる傍ら、イリ・キリアン、オハッド・ナハリン、稲尾芳文、森優貴の作品等に出演。2017 年 4 月より総監督に就任。ダンサーとして優れた活躍を見せるのみならず、貞松・浜田バレエ団のプロデューサーとして海外振付家招聘による新作上演やリラックスパフォーマンス等のインクルーシブな鑑賞・参加型事業にも取り組み、神戸発の新しい舞踊芸術のあり方を発信している。

受 賞 歴

第 65 回芸術文化団体半どんの会文化賞（2018 年／平成 30 年）

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

貞松・浜田バレエ団 総監督

まつなが けー さんぞう
松永 K 三蔵

文学

45 歳（贈呈式 9/24 現在） 兵庫県西宮市



撮影：嶋田礼奈

業 績

14 歳で母親から手渡されたドストエフスキーの『罪と罰』を読み、感銘を受け小説家を志す。大学卒業後、尼崎市の福祉施設で契約職員として 2 年勤務。その後、建築・不動産業界で数度のリストラの危機に遭いながらも創作活動を続け、2021 年に第 64 回群像新人文学賞優秀作「カメオ」でデビュー。2024 年 7 月、六甲山を舞台とする”純文学山岳小説”「バリ山行」で第 171 回芥川賞を受賞。細部を丹念になぞる描写で登山、とりわけ六甲山の魅力を伝える本作は、読書家のみならずアウトドア愛好家の間でも話題を集め、受賞後は全国各紙への掲載や大手山岳雑誌で特集されるなど、魅力を全国に発信している。

また、難解とみられがちな純文学の「おもしろさ」を伝えたいと、「オモロイ純文運動」をコンセプトに「純文学はひらかれていて、オモロイのだということを世間にわかってもらおう文学運動」を掲げる。神戸では「オモロイ純文運動×神戸文学館」として土曜サロンを開催するほか、全国各地で講演会等を開催。

受 賞 歴

「カメオ」 第 64 回群像新人文学賞優秀作（2021 年／令和 3 年）

「バリ山行」 第 171 回芥川龍之介賞（2024 年／令和 6 年）

茨城県特別功労賞（2024 年／令和 6 年）

西宮市文化芸術特別賞（2024 年／令和 6 年）

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

いばらき大使、ふるさと日立大使、日本文藝家協会所属

神戸市文化活動功労賞

うすい まこと
臼井 真

音楽

65 歳（贈呈式 9/24 現在） 神戸市東灘区



業 績

1983 年から神戸市立の小学校で 38 年間勤務。1995 年、阪神淡路大震災で自宅が全壊し、避難していた親戚宅で変わり果てた神戸の街の姿をニュースで見て衝撃を受け、「しあわせ運べるように」を作詞・作曲。同曲はその後、学校や追悼式典、「神戸ルミナリエ」などの震災関連行事などで歌い継がれ、復興への願いのシンボルとして新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震、能登半島地震など国内外の被災地でも歌われている。2020 年、「しあわせ運べるように」が小学生の音楽の教科書に掲載され、2021 年 1 月には神戸市歌に指定された。

長年震災関連のイベントに数多く関わり、同曲のコンサートでの指揮やシンポジウムへの登壇など幅広く活動。2025 年 1 月には『阪神・淡路大震災 30 年「しあわせ運べるように」歌い継ぐコンサート』でかつての教え子と共演したほか、多数の震災関連コンサートやメディアに出演。音楽を通じて様々な地域・世代への震災の記憶継承に取り組み、その功績を称え 2025 年に兵庫県功労者表彰（県勢高揚功労）を受賞。

受 賞 歴

兵庫県教職員組合教育文化奨励賞（2005 年／平成 17 年）

国際ソロプチミスト神戸東第一回クローバー賞（2006 年／平成 18 年）

神戸市教育委員会教育実践奨励賞（2010 年／平成 22 年）

文部科学大臣優秀教員表彰（2011 年／平成 23 年）

第 68 回神戸新聞平和賞（2014 年／平成 26 年）

国際ソロプチミスト神戸東「千嘉代子賞」SI 神戸東クラブ賞（2020 年／令和 2 年）

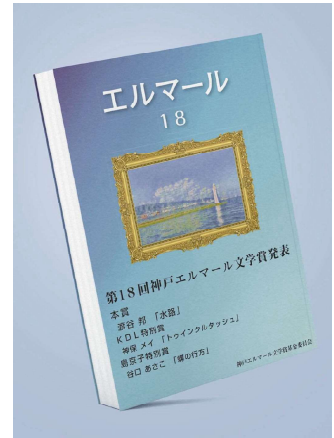
兵庫県功労者表彰文化功労賞、第 8 回 JASRAC 音楽文化賞（2021 年／令和 3 年）

兵庫県功労者表彰県勢高揚功労賞（2025 年／令和 7 年）

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

神戸親和大学教育学部教育学科 教授

こうべ
神戸エルマール文学賞基金委員会 文学
ぶんがくしょうききんいんかい
2007 年 10 月設立 神戸市西区



業 績

同人雑誌を対象とする神戸郷土の文学賞。「小島輝正文学賞（平成 2～4 年）」、「神戸ナビール文学賞（平成 5～18 年）」の意志を受け継ぐ形で平成 18 年に島京子氏、竹内和夫氏を中心に関西の作家・同人作家が集まり発足した。「エルマール」はスペイン語で「海」を意味し、神戸から文学の海に船出する人々を励ます願いが込められている。

平成 19 年の第一回文学賞以降、今年で 19 回の開催を重ね、前身となる神戸ナビール文学賞を合わせれば 30 年余の長きにわたり、優秀作品の顕彰と作品集の発行により近畿圏の同人作家・雑誌に光を当てる活動を続けている。同人雑誌の賞は全国的にも珍しく、市内はもとより近畿圏域で、同人雑誌を通じた文学表現の振興と新進作家の発掘に寄与してきた。また、創作活動の高揚のため、顕彰に加えて著名な作家による講演会も市内で開催している。永年にわたる文学振興への功績を称え、2015 年には神戸新聞文化賞を受賞。

受 賞 歴

第 69 回神戸新聞文化賞（2015 年／平成 27 年）

こうべ
神戸ユースジャズオーケストラ 音楽（ジャズ）

2016 年 10 月設立

神戸市中央区



業 績

小学生から高校生までのメンバーで構成されるビッグバンド。ジャズの街神戸のプロモーションや次世代を担う人材育成などを目的に結成。運営は、「ジャズの街神戸」推進協議会のメンバー等で結成した神戸ユースジャズ実行委員会が行っている。広瀬未来、高橋知道など神戸を代表するプロミュージシャンや神戸ユースジャズオーケストラ卒業生の大学生などが指導を行い、「KOBE JAZZ DAY」や「KOBE JAZZ CENTENNIAL」などジャズの街神戸をPRするイベントに積極的に参加。ジャズの甲子園とも称される中高生ビッグバンドの祭典「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」の第40回（2025年）では、団体賞として優秀賞を受賞、個人賞としてベストプレイヤー賞1名、パークリー音楽大学特別賞1名が選出された。メンバーから音楽大学進学者を多数輩出するほか、卒業後プロミュージシャンとして活躍する者もいる。

学校部活動において吹奏楽ほど一般的とはいえないジャズ分野で、若い世代の技術向上や演奏機会の創出によりジャズ文化の継承に貢献し、また、放課後の居場所づくりとしても貴重な受け皿となっている。学校とは異なるフィールドで若者に自己表現の場を与え、その活動は教育的観点からも大きな意義を有する。

受 賞 歴

第38回 JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL（2023年／令和5年）団体賞「奨励賞」、個人賞「ナイスプレイヤー賞」1名

第39回 JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL（2024年／令和6年）団体賞「優秀賞」、個人賞「ナイスプレイヤー賞」2名

第40回 JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL（2025年／令和7年）団体賞「優秀賞」、個人賞「ナイスプレイヤー賞」1名、「パークリー音楽大学特別賞」1名

たにぐち よしこ
谷口 義子

地域学

兵庫県芦屋市



業 績

地域学研究の大家・田辺眞人氏に師事し、地域学の研究者として神戸外国人居留地研究会監事を務め、神戸外国人居留地における日仏交流史、神戸・阪神間における地域史などを研究。灘区 80 周年史編集委員として『灘の歴史』を執筆し、田辺眞人氏とともに『神戸の歴史ノート』を共著。神戸学院大学・神戸市立看護大学で地域学の講義を行い、若い世代に学びを与えるほか、市内文化センターを始め各所での講座や街歩き企画を通して生涯学習にも貢献している。

テレビ放送などの考証においても活躍し、「KOBE de 清盛 2012」では兵庫の歴史館展示委員を務め、NHK 神戸放送局「新兵庫史を歩く」では調査及び台本執筆、NHK 連続テレビ小説「べっぴんさん」では風俗考証を行った。2017 年には NHK 総合「ブラタモリ」に出演。全国への神戸の文化発信に大きく寄与した。また、地域研究の成果を街おこしに活かすべく、各地のご当地検定にも力を注ぎ、神戸では有馬学、六甲・まや学、神戸学検定に関わる。2024 年からは兵庫学検定委員として活動。

受 賞 歴

兵庫県こうのとり賞（2021 年／令和 3 年）

宝塚市市民文化賞（2022 年／令和 4 年）

その他（現在、所属・就任している団体・役職 等）

神戸芸術文化会議会員（評論・学術部門）、神戸外国人居留地研究会監事、兵庫学検定委員

神戸学院大学非常勤講師（地域学／神戸学・兵庫学）